

## 学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成24年5月8日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

### 発 表 事 項

1. 独立行政法人放射線医学総合研究所との協定締結
2. 2012年度月山マイスター養成講座の開催
3. イノベーション拠点立地推進事業の採択
4. 世界平和学術シンポジウム「安達峰一郎と国際法の歴史」の開催
5. 大学コンソーシアムやまがた「やまがた夜話」の開催

### お 知 ら せ

1. 山形大学人文学部公開講座「イメージの詩学 - ヨーロッパを解く」の開催
2. モバイルキッズ・ケミラボ2012の開催
3. カントー大学(ベトナム)と大学間交流協定を締結

### (参 考)

次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成24年5月22日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成24年5月8日  
山形大学

## 独立行政法人 放射線医学総合研究所と協定締結

山形大学と独立行政法人 放射線医学総合研究所は、重粒子線がん治療施設設置検討も視野にいれ、放射線の医学利用に関する包括的な協力協定を締結しました。

山形大学は独立行政法人放射線医学総合研究所と、放射線の医学利用に関する包括的な教育・研究・医療協力に関する協定を締結しました。

### 目 的

本協定は、双方の自主性を尊重しつつ、教育研究活動の一層の充実を図るとともにその成果の普及を促進させることに関して相互協力を推進し、我が国の放射線医学利用分野の発展・継承に寄与することを目的とする。

### 協力事項

- (1)教員、医師、研究者及び関連する職員の交流
- (2)学生、研究生等の交流
- (3)医療に関する交流
- (4)研究資料、刊行物及び研究情報の交換
- (5)研究施設・設備の相互利用
- (6)研究資源の相互利用
- (7)共同研究活動
- (8)研究成果物の管理活用
- (9)その他甲と乙が合意した事項

(お問い合わせ)

山形大学重粒子線がん治療施設設置準備室 河野  
(TEL) 023 - 628 - 5404

## 教育・研究・医療協力に関する協定書

独立行政法人放射線医学総合研究所（以下「甲」という。）と国立大学法人山形大学（以下「乙」という。）は、放射線の医学利用に関する包括的な教育・研究・医療協力に関し、次のとおり協定を締結する。

### （目的）

第1条 本協定は、甲と乙双方の自主性を尊重しつつ、教育研究活動の一層の充実を図るとともにその成果の普及を促進させることに関して相互協力を推進し、我が国の放射線医学利用分野の発展・継承に寄与することを目的とする。

### （協力事項）

第2条 甲と乙は、前条の目的を達成するため、次の各号に定める事項について連携し協力する。

- (1) 教員、医師、研究者及び関連する職員の交流
- (2) 学生、研究生等の交流
- (3) 医療に関する交流
- (4) 研究資料、刊行物及び研究情報の交換
- (5) 研究施設・設備の相互利用
- (6) 研究資源の相互利用
- (7) 共同研究活動
- (8) 研究成果物の管理活用
- (9) その他甲と乙が合意した事項

2 前項の具体的事項に関しては、甲と乙が別途協議する。

### （協力管理責任）

第3条 前条に掲げる事項の具体的な実施に当たっては、甲と乙それぞれ以下の者が管理責任を負う。

- 甲：独立行政法人放射線医学総合研究所理事長  
乙：国立大学法人山形大学長

### （秘密保持等）

第4条 甲と乙の秘密保持義務の扱い及び本協定から生じる知的財産権等の成果の取扱い、並びに本協定から生じる学術情報の公表については、別途定める取決めに従うものとする。なお、取決めによりがたい場合は、書面による合意を行うものとする。

### （疑義）

第5条 本協定に関して疑義が生じたとき、本協定の一部を変更しようとするとき、又は本協定に定めのない事項については、甲と乙は誠実に協議のうえその都度決定する。

### （有効期限）

第6条 本協定の有効期間は、協定の締結日から平成25年3月31日までとする。ただし、本協定の有効期間満了の日から2か月前までに、甲と乙いずれかから特段の意思表示がない場合には、更に1年間更新するものとし、その後も同様とする。

本協定の締結を証するため、本協定書2通を作成し、甲乙記名押印のうえ、各1通を保有する。

平成24年 4月18日

千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号  
甲 独立行政法人 放射線医学総合研究所  
理事長 米倉 義暉



山形県山形市小白川町1丁目4番12号  
乙 国立大学法人 山形大学  
学長 結城 章夫



平成24年5月 8日  
山形大学

## やまがた『科学の花咲く』プロジェクト・科学の花咲かせ隊養成講座 月山マイスターその他養成講座のご案内

独立行政法人科学技術振興機構（JST）の支援により、山形県、県内関係機関とともに地域の科学舎推進事業「地域ネットワーク支援」として「やまがた『科学の花咲く』プロジェクト」を平成21年度から3年間行ってきました。昨年度は、スライムマイスター、クラゲマイスター、蔵王マイスター、月山マイスターの養成講座を行いました。

今年度からは、大学や県などで継続して事業を進めていくこととなりました。

今年度最初の講座として、月山マイスター養成講座を開催します。山形が誇る月山のすばらしさをお互いに学びながら、それらを、月山を訪れる人々に感動を持って伝えてみませんか？

さらに、7月には、クラゲマイスターを予定しています。今回、新たに奥の細道マイスター講座を開講する準備を進めています。山形県内の奥の細道に関連する講座を開講し、ボランティアガイドを要請しながら、来年度以降は、東北の地を結んでいきたいと現在、関係機関と調整中です。詳細が決まり次第、この記者会見を通して発表させていただきます。

月山マイスターについての詳細は、別添資料をご覧ください。

（お問い合わせ）

SCITAセンター

電話：023（628）4517

# 月山マイスター 養成講座のご案内



月山・志津・紅葉の五色沼



月山北面・立谷沢川支流濁沢の地すべり



湯殿山、姥ヶ岳・月山

山形大学では、月山の自然環境から民俗までをカバーして、総合的な視点から月山について語ることの出来るコミュニケーターを育てる、月山マイスター養成講座を下記のように実施を予定しています。

山形が誇る月山のすばらしさをお互いに学びながら、それらを、月山を訪れる人々に感動を持って伝えてみませんか？

## 応募条件

月山マイスターは地域におけるサイエンス・コミュニケーターとしての活動が期待されています。従って、月山に関する知識取得にとどまらず、月山をどのような切り口で捉えていくかを学び、その成果を地域に伝えるため、意欲的な普及実践活動への参加が求められます。応募動機と普及実践活動についての抱負、あるいはこれまでの実績を200字程度にまとめて提出して下さい。応募者多数の場合、提出された書面によって選考させていただきます。

なお、マイスター資格取得を目指さないが、実習を除いて講義のみの聴講は可能です。その際は申込みの必要はありません。

受講料：無料（野外実習参加時に保険代を徴収することがあります）

申込方法：裏面の申込用紙またはホームページからダウンロードした申込用紙に記入し郵送またはFaxで送付してください

締め切り：5月25日(金)

定員：20名程度

日時	場所	講座内容
平成24年6月9日(土)	山形大学	プロジェクトについて、山形の自然景観、月山の火山学
7月8日(日)・9日(月)	志津	エコツーリズムと指導者養成(8日)、地形生態学、月山自然環境・エコツーリズム実習(9日)
7月22日(日)・23日(月)	肘折	山形の自然環境、月山周辺の地質学と実習(22日)、肘折の地すべり、自然環境・地すべり実習(23日)
8月25日(土)	山形大学	月山とその周辺の資源
9月24日(月)	志津	地すべり災害講義、地すべり災害s実習
10・11月	志津	防災教育、月山火山実習、出羽三山の歴史、山岳巡礼・山岳信仰、
11月	羽黒山	伝統建築、伝統建築実習
12月	肘折	温泉療法
3月	肘折	月山の雪、雪氷実習

全22講座

問い合わせ先：やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局(裏面参照)

後援/(財)砂防広報センター

やまがた『科学の花咲く』プロジェクト・科学の花咲かせ隊養成講座

# 月山マイスター 養成講座

## 受講申込書

氏名	(所属機関)	(職名)	住所・連絡先
			〒 TEL ( ) - 携帯 ( ) - FAX ( ) - E-mail 携帯 E-mail
応募動機と抱負(200字程度)			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			

※ 傷害保険（プロジェクト事務局負担）に加入しますので、  
所属機関・職名がない方でも住所・連絡先は必ずお書きください。



申込  
締切

平成23年5月25日(金)

お  
申  
し  
込  
み  
先



やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター  
FAX(023)628-4517

担当: 奈佐 (080-1801-8958)

上記すべての事項を記載した文書ファイルを下記のアドレスに  
添付ファイルとして送付でも受け付けます。

e-mail : gassan@e.yamagata-u.ac.jp HP: <http://mirai.scita.jp/~chiiki/>

## 奥の細道マイスターが絆ぐ東北

各地の芭蕉／奥の細道ネットワークを構築

マイスター養成・観光による復興支援

地域の活性化

海外への情報発信

・栃木・福島・山形・宮城・岩手を絆ぐ

加えて芭蕉訪問地・奥の細道行程地との連携を模索

・奥の細道・・・東京・埼玉・秋田・新潟・・・

・茨城(「鹿島詣」)・長野(「更科紀行」)など

## 実施計画(3年間)

・24年度 **立ち上げ**

・キックオフシンポジウム

・県内関連施設との連携＝マイスター養成講座

・県内の芭蕉関係の調整・データベース化

・山形県内のネットワーク化検討

・25年度 **山形県内での展開**

県内への展開 尾花沢・出羽三山・最上・酒田等

・26年度以降 **東北への広域展開**

震災被災地をつなぐ 宮城・福島・岩手への展開

芭蕉／奥の細道ゆかりの地との広域展開

## 国際交流の観点

・外国人旅行者のガイド養成

英語・外国語資格者の活用

・留学生の確保

日本文化研究 世界的有名な題材

・海外への情報発信

・被災地のいまを伝える

・文化による観光客誘致

## 山形大学「知」の資源を組み込んだ観光モデル



\*マイスター:参加者・対象 大学生～一般(シニア)・人材教育・シルバー世代のいきがい

平成24年 5月 8日  
山形大学

## 経済産業省イノベーション拠点立地推進事業に2件採択

経済産業省のイノベーション拠点立地推進事業（企業等の実証・評価設備等の整備事業）に、本学から2つの案件が採択されました。

- ・「リチウムイオン電池性能向上型機能性ハイブリッドセパレータの実証検証」
- ・「印刷製造プロセスを使った低コストRFIDタグの製造実証」

この事業は、企業等による先端技術の実証・評価等のための設備等の整備に対して補助事業を行うことにより、国際競争力を有する技術力を保持・発展させると共に、地域の科学技術の発達及び経済の活性化を図ることを目的として実施するものです。

平成23年度の公募で、本学からは下記2件が採択されました。今回の事業採択数は、本学の2件を含め51件です（応募206件中）。

### 「リチウムイオン電池性能向上型機能性ハイブリッドセパレータの実証検証」

申請者（単独申請） 山形大学

<施設名称 仮称> 山形大学 蓄電デバイス研究開発センター（2013年夏開所予定）

山形大学は蓄電デバイスを、有機EL、有機太陽電池、有機トランジスタと並ぶ有機エレクトロニクスの4本目の柱と位置付け、既存の国内蓄電池研究開発機関と連携し、我が国の蓄電デバイス研究開発・事業化・産業化に貢献することを推進します。「有機エレクトロニクス研究センター」、「有機エレクトロニクスイノベーションセンター」との相乗効果により、研究開発・事業化・産業化をさらに強力に推進します。

本センターの建設予算は、今回の補助金を合わせ約10億円。建設予定地は米沢市内の企業集積地「米沢オフィスアルカディア」の用地（約4700平方メートル）で、同地は米沢市より無償貸与いただく予定です。また、同センターに隣接して、有機エレクトロニクスイノベーションセンターの建設も進めています（2013年春開所予定）。

#### 山形大学 蓄電デバイス研究開発センターの特徴

オープンイノベーションで、蓄電池材料、セパレータ、正極、負極、電解液等、複数の企業との連携で実証実験等を実施し、我が国としても重要な蓄電デバイス研究プロジェクトを先導し推進します。

今回の計画では、本学の吉武秀哉教授が開発したハイブリッド型のセパレータを利用することにより、リチウム電池の性能が格段に上がる地域イノベーション戦略支援プログラム（文部科学省・山形県内9機関で推進）の研究開発成果をもとに、実際にセンター内にハイブリッドセパレータの試作工場を設備し、ライン大量生産による低コスト化を実現し、新たなリチウム電池の産業化を目指します。産学官連携により県内企業への波及連携もはかっています。



### 「印刷製造プロセスを使った低コストRFIDタグの製造実証」

申請者（共同申請） サトーホールディングス株式会社  
サトープリンティング株式会社  
山形大学

山形大学有機エレクトロニクス研究センターの有機トランジスタ部門（時任静士卓越研究教授・部門長）で進めてきた地域卓越研究者戦略的結集プログラム（科学技術振興機構（JST）山形大学・山形県で推進）の基礎研究の成果である有機半導体と印刷の技術と、サトーグループの印刷及びICタグに関する技術とを融合し、従来よりも格段に低コストのRFID製造技術を確立、事業化・産業化を強力に推進します。

本プロジェクトは、ICタグからアンテナまでの生産の一連の流れを印刷方式で行うことにより、大幅な低コスト化を図る世界をリードするものです。設備整備費は今回の補助金を合わせ約1.2億。地域イノベーション戦略支援プログラムの枠組みで、産学官連携により県内企業への波及連携もはかっていきます。

商品にICタグを導入することにより、商品の物流が変わるといわれています。生産した商品がどの店舗に入荷しているか、その商品が売れたかどうかなど、商品の流れをきめ細やかに追跡可能となります。また、ICタグは複製が難しく、商品偽装の防止などセキュリティの面でも大きな利点があります。

（お問い合わせ）  
工学部研究プロジェクト支援室  
電話：0238（26）3590

平成24年5月8日  
山形大学

## 世界平和学術シンポジウム 「安達峰一郎と国際法の歴史」

昭和初期にオランダのハーグにある常設国際司法裁判所の所長を務められ、世界平和への献身的な働きから「世界の良心」と言われた山形県出身の世界的な偉人安達峰一郎博士と国際法の歴史についてのシンポジウムを開催します。

開催日時：2012年6月11日（月）13：00～17：00

会場：山形大学小白川キャンパス 基盤教育2号館2F 222教室

参加料：無料

対象：高校生・大学生・一般市民

第一部 基調講演「安達峰一郎の国際法観 - 国際裁判論を中心として」  
国際法の父グロティウス（オランダの法学者）研究を始めとする、  
日本における碩学・柳原正治教授による基調講演

第二部 ベルギー・オランダ第三次調査団の帰朝報告

第三部 パネル・ディスカッション

問い合わせ：山形大学都市・地域学研究所  
山形大学人文学部 松尾剛次研究室  
023-628-4917

# 安達峰一郎と国際法の歴史

常設国際司法裁判所の生みの親の一人・安達峰一郎は、山形が生んだ世界的偉人で1935年にオランダで国葬に付された。安達研究を一貫して推進してきた山大都市研主催の「世界平和学術シンポジウム」。

第1部では、国際法の父グロティウス（オランダの法学者）研究を始めとする、日本における碩学・柳原正治教授による興味深い基調講演。第2部では、ベルギー・オランダ第三次調査団の帰朝報告が、第3部では、以上を踏まえて総括的にパネル・ディスカッションが行なわれる。

開催日時：2012年6月11日（月）13:00～17:00

会場：山形大学小白川キャンパス 基盤教育2号館2F 222教室

参加料：無料

対象：高校生・大学生・一般市民



世界平和学術シンポジウム



第1部 総合司会：貝山道博（山形大学都市研事務局長）

13:00 開会の挨拶

山形大学学長 結城 章夫氏

13:10 基調講演

「安達峰一郎の国際法観 - 国際裁判論を中心として」

国際法学会理事長・九州大学大学院法学研究院

柳原 正治教授

第2部 14:40 第三次調査報告

山形大学都市・地域学研究所所長

松尾 剛次教授（第三次調査団団長）

第3部 15:30 パネル・ディスカッション

パネリスト | 柳原正治（九州大学）  
| 中澤信幸（山大都市研財務長）  
| 松本邦彦（山大都市研所員）  
| 丸山政己（山大都市研所員）

コーディネーター：山形大学都市研副所長 澤田裕治



申込方法：TEL・FAX・E-mailのいずれかでお申し込み下さい。

問い合わせ・申込先

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 山形大学人文学部 松尾剛次研究室 青木みゆき

TEL・FAX：023-628-4917 E-mail：kmatsuo@human.kj.yamagata-u.ac.jp

または、山形大学人文学部総務課 TEL：023-628-4203

主催：山形大学都市・地域学研究所

## 柳原 正治 (やなぎはら まさはる) 教授プロフィール

国際法学会理事長

九州大学大学院法学研究院教授 1952年7月生



東京大学法学部出身、大学院法学政治学研究科を終え、横浜国立大学を経て、1989年より九州大学に勤務。17・18世紀のヨーロッパにおける国際法史を中心に研究。19・20世紀における国際法史、さらに武力行使や領域などの現代的問題にも取り組む。2004年4月から2008年9月まで国際交流・留学生担当の理事・副学長

### 主な研究テーマ

1. 近世及び近代の日本における「領域」・「国境」に関する研究
2. 法規範としての国際法規範の存立基盤に関する研究
3. アジアにおける近代ヨーロッパ国際法の受容過程

### 従事しているプロジェクト研究

近世及び近代の日本における「領域」・「国境」に関する研究

### 研究業績

#### 著書 (主な作品)

1. 柳原正治・森川幸一・兼原敦子編『プラクティス国際法講義』信山社, 441頁, 2010.03.
2. 柳原正治「クリスティアン・ヴォルフ」勝田有恒・山内進編『近世・近代ヨーロッパの法学者たち グラーティアヌスからカール・シュミットまで』ミネルヴァ書房 2008.03.
3. 柳原正治「国家領域」小寺彰ほか(編)『講義国際法 第2版』有斐閣, 2010.10.
4. 柳原正治『グロティウス』清水書院, 2000.10.
5. 柳原正治『ヴォルフの国際法理論』有斐閣, 1998.02.
6. 柳原正治・佐々木有司訳/ミヒャエル・シュトライス編『一七・一八世紀の国家思想家たち』木鐸社, 1995.02.

#### 論文

1. 研究報告『国際法先例彙輯』に関する研究(7)領海ノ範囲, 外交史料館報, 2004.05.
2. イラク問題と国際法 武力行使に対する国際法の有効性, 法学教室, 2004.05.

### 受賞

安達峰一郎記念賞, (財)安達峰一郎記念館, 1992.10.

平成24年5月8日  
山形大学

## 大学コンソーシアムやまがた 『やまがた夜話』

今年度もゆうステで「やまがた夜話」が始まります。

「大学コンソーシアムやまがた」では、「もう一つの人づくり」を実現するため、「山形県の人・モノ・地域作り」をテーマにそれぞれの得意分野で活躍している第一人者の目線で皆さまにわかりやすくお話ししています。

5月は、「東日本大震災、これからの復興を考える」をテーマに4回シリーズで開催します。

日時：開催日は下記のとおり 18:30～19:30

場所：ゆうキャンパス・ステーション（山形市：山形むらきさわビル1階）

対象：高校生・学生・一般市民 定員50名（参加費は無料です。）

5月23日（水）18:30～19:30 三浦秀一氏（東北芸術工科大学デザイン工学部准教授）  
「市民が共同でつくる再生可能エネルギー」

5月25日（金）18:30～19:30 川辺孝幸氏（山形大学地域教育文化学部教授）  
「山形も安全ではない！～山形盆地の地震とその被害について～」

5月29日（火）18:30～19:30 齋藤和人氏（復興ボランティア支援センターやまがた所長  
NPO法人山形の公益活動を応援する会・アミル代表理事）  
「復興支援ボランティア支援センターの役割」

5月30日（水）18:30～19:30 阿彦忠之氏（山形県衛生研究所所長）  
「食品中の放射性セシウムの新基準」

〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕

大学コンソーシアムやまがた：

平成16年4月に設立された、山形県内の大学・短期大学・高等専門学校・放送大学等の高等教育機関と山形県の連合組織です。山形県内の高等教育の充実・発展を図るとともに、各大学の知的資源を有効に活用して地域社会に貢献することを目的としています。

問い合わせ：大学コンソーシアムやまがた事務局  
023-628-4842

# やまがた夜話

**テーマ 東日本大震災、これからの復興を考える**

5月23日(水) 「市民が共同でつくる再生可能エネルギー」  
18:30～19:30 **三浦 秀一 氏**(東北芸術工科大学デザイン工学部 准教授)

5月25日(金) 「山形も安全ではない  
18:30～19:30 ～山形盆地の地震とその被害について～」  
**川辺 孝幸 氏**(山形大学地域教育文化学部 教授)

5月29日(火) 「復興支援ボランティア支援センターの役割」  
18:30～19:30 **齋藤 和人 氏**  
(復興ボランティア支援センターやまがた 所長  
NPO法人山形の公益活動を応援する会・アミル 代表理事)

5月30日(水) 「食品中の放射性セシウムの新基準」  
18:30～19:30 **阿彦 忠之 氏**(山形県衛生研究所 所長)

**会場** ゆうキャンパス・ステーション  
(山形むらきさわビル1階)

**アクセス** 山形駅東口より徒歩1分

**対象** 高校生・学生・一般市民  
定員:50名

**入場無料**

**お申し込み** 電話又はチラシ裏面の参加  
申込書に必要事項を記入の  
上Fax、郵送、メール等でお  
申し込みください。



主催

お申込み・お問合せ



大学コンソーシアムやまがた

大学コンソーシアムやまがた

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階  
TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820  
E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



FAX:023-628-4820

大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

やまがた夜話に参加申込みをします。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。

申込締切日:それぞれの夜話前日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加日に○をつけてください。 平成24年5月23日(水) 講師:三浦秀一 氏 平成24年5月25日(金) 講師:川辺孝幸 氏 平成24年5月29日(火) 講師:齋藤和人 氏 平成24年5月30日(水) 講師:阿彦忠之 氏
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	

受講申込者が多数の場合は、お手数ですが参加申込書をコピーしてご利用ください。

この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

【お申込・お問合せ先】

大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらさきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

# プレス通知資料（概要）

平成24年5月8日  
山形大学

## 山形大学人文学部公開講座「イメージの詩学 - ヨーロッパを解く」の開催

(概要) 人文学部の公開講座を開催します。今年度は「イメージの詩学 - ヨーロッパを解く」と題して、6月11日から5回にわたって行われます。受講料は2,000円、ただし大学生、高校生は無料となっています。申込期間は6月6日(水)まで。

日時:平成24年6月11日(月)から6月25日(月)までの毎週月、木 全5回  
各回 18:30 ~ 20:10

(詳しくは、別添の資料をご覧ください。)

## モバイルキッズ・ケミラボ2012の開催

(現在、山形大学の大学間交流協定校は21カ国・地域、46機関、学部間では20カ国・地域、66機関)

(概要) 工学部と米沢市教育委員会との連携事業「モバイルキッズ・ケミラボ」は、2002年に始まりました。参加者にはリピーターの児童が圧倒的に多く、理科の楽しさを味わい、理科好きな児童が育っているのではないかと思います。より魅力的な講座となるよう、新メニューも開拓し、今年で11年目の開催となります。

日時:平成24年5月~11月の土曜日 午前 計14回

場所:米沢市教育委員会理科研修センター

対象:主として米沢市内小学4年生以上の児童と保護者、及び地域のリーダー

参加費:無料

(詳しくは、別添の資料をご覧ください。)

## カントー大学(ベトナム)と大学間交流協定を締結

(概要) 平成24年4月20日に、ベトナム・カントー大学と大学間交流協定を締結しました。同大学はメコンデルタ最大の町、カントー市に所在し、44,000人の学生を有し14学部・6研究科を持つ総合大学です。

安田弘法副学長(国際交流担当)とHA THANH TOANカントー大学長が学術交流協定書にサインをして協定を締結しました。調印後の意見交換において、活発な学術研究を促進するとともに、学生の交流はもちろん、教職員の交流も進めていくことを確認しました。

(現在、山形大学の大学間交流協定校は21カ国・地域、47機関。)

- 募集人員** ◆ 一般市民・大学生・高校生 30名
- 募集期間** ◆ 平成24年5月7日(月)～6月6日(水)
- 受講料** ◆ 2,000円(大学生・高校生は無料)
- お申し込み方法** ◆ 下の「払込取扱票」に記入の上、受講料の振り込み手続きをしてください。通信欄には、職業・年齢を記入してください。先着順に受け付け、受講票をお送りします。  
なお、大学生・高校生は、メールあるいは電話で、住所、氏名、電話番号、年齢を下記のお問い合わせ先にご連絡ください。
- お問い合わせ先** ◆ 〒990-8560  
山形市小白川町1-4-12 山形大学人文学部事務室  
TEL: 023-628-4203  
E-mail: jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
- 会場案内** ◆ 山形大学人文学部1階 104教室  
大学正門に入って正面の建物です。  
受付は人文学部正面玄関にて行います。
- その他** ◆ **【公共交通機関ご利用のお願い】**  
現在、山形大学小白川キャンパスでは、駐車場が非常に手狭になっております。公開講座当日はできるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。



平成24年度山形大学公開講座 (人文学部)

平成24年度 山形大学公開講座〔人文学部〕

# イメージの詩学

## — ヨーロッパを解く



6月11日 月  
**詩は絵のように**  
— ボッティチェッリのヴィーナス像とポエジア(詩想画)  
人文学部 准教授 石澤靖典

6月14日 木  
**フェルメールの笑顔**  
人文学部 教授 元木幸一

6月18日 月  
**聖像破壊者ホガースが描いた娼婦**  
人文学部 教授 中村 隆

6月21日 木  
**「無対象絵画」の成立まで**  
もう一つの近代ロシア文化史  
人文学部 教授 中村唯史

6月25日 月  
**一枚の写真から**  
人文学部 教授 阿部宏慈

日 時: 平成24年6月11日(月)～6月25日(月)  
午後6時30分～8時10分 [月・木 計5回]

場 所: 山形大学人文学部1階 104教室

対 象: 一般市民・大学生・高校生 定員30名

受 講 料: 一般 2,000円  
**大学生・高校生は無料**

募集期間: 平成24年5月7日(木)～6月6日(水)

■お問い合わせ先

山形大学人文学部事務室  
電話: 023-628-4203  
E-mail: jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意  
この払込書は、機械で処理しますので、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

この場所には、何も記載しないでください。



# Europe

# イメージの詩学

— ヨーロッパを解く



## 講座の概要

今年度の人文学部の夏の講座では絵画や写真、風景などの「イメージ」を取り上げ、講師陣に様々な方向から自在に語ってもらい、受講者の方々にも考えていただく時間になりたいと思います。扱う時代はルネサンスから現代まで。場所はイタリア、オランダ、イギリス、ロシア、フランスと多岐に渡ります。芸術家の名を挙げれば、フェルメール、ポッティチェリ、ホガース、マレーヴィチ、マン・レイなどを相上り載せる予定です。有名な絵から珍しい図像まで、絵解き・謎解きを存分にお楽しみください。イメージと詩のせめぎ合いを通して、ヨーロッパ文化の多様性と奥深さを浮き彫りにできれば幸いです。謎解きは絵画鑑賞の後で…。

第1回目

## 詩は絵のように — ポッティチェリのヴィーナス像とポエジーア(詩想画)

人文学部 准教授 石澤靖典



華やかなヴィーナス像で有名なルネサンスの画家ポッティチェリ。その絵画表象にはさまざまな詩的イメージが精妙に重なり合っています。「詩は絵のように」という古代の詩法こそは、この時代の芸術家たちを魅了した金科玉条でした。この講義では、絵画と文学、あるいは視覚芸術と言語芸術の密接で複雑な関係をポッティチェリとそれ以後の詩想画(ポエジーア)の系譜から考えてみます。

6月11日

第2回目

## フェルメールの笑顔

人文学部 教授 元木幸一



ヨーロッパ絵画に笑顔が登場するようになるのは、それほど早いことではありません。17世紀オランダの画家フェルメールの作品にも、10点ほどに笑顔の人物が登場します。フェルメールのいくつかの作品をとりあげ、スライドを見ながら、具体的に多彩な笑顔の意味を分析しましょう。マダムの笑顔、色男の笑顔、召使の笑顔、さて、さて、どんな笑顔が登場するのでしょうか。

6月14日

第3回目

## 聖像破壊者ホガースが描いた娼婦

人文学部 教授 中村 隆



ホガースは「版画」という形式を用いることで、絵をあたかも工業製品のように大量生産し、絵の価格を破壊しました。破壊したのは絵の主題も同様で、彼は「娼婦」を堂々と描き、それは大いに売れました。本講義では娼婦の転落の人生をアイロニーたっぷりに描いた『娼婦一代記』を取り上げ、版画の特異性に気を配りつつ、この連作版画に埋め込まれている数多くの謎の解明をしたいと思います。

6月18日

第4回目

## 「無対象絵画」の成立まで もう一つの近代ロシア文化史

人文学部 教授 中村唯史



ロシアは文学や音楽、あるいは政治の国との印象が強いですが、20世紀の世界的な画家シャガールやカンディンスキーは、後に亡命したとはいえ、ロシアの出身です。この講義では、シャガールらと同世代で、ソ連期にも国内に留まり、「黒い正方形」「白の上の白」などの「無対象絵画」を描いたマレーヴィチを軸に、彼らの前衛的な画風を育んだ19世紀末—20世紀初頭のロシア絵画と思想の動向を考察します。

6月21日

第5回目

## 一枚の写真から

人文学部 教授 阿部宏慈



ここに一枚の写真があります。眼鏡をかけたひげのおじいさんが、いたずらっぽいやつぱり微笑みをたたえてこちらを見ている写真。写真家の名前はマン・レイ。写っている人の名前はエリック・サティ。「三つのジムノペディ」などで知られるフランスの作曲家です。何とも不思議な雰囲気一枚の写真をきっかけに、第一次世界大戦前後のフランスにおける若々しい芸術運動の息吹をお伝えできればと思います。

6月25日

02		払込取扱票				通常払込料金 加入者負担	
口座記号番号		金額		千 百 十 万 千 百 十 円		2 0 0 0	
0 2 2 6 0 - 7		9 2 4 7 8					
加入者		料 金		備 考			
通 信 欄		国立大学法人山形大学 ※「イメージの詩学—ヨーロッパを解く」申込書 ※この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。(人文学部) ○職業をお書きください。( ) ○年齢をお書きください。( ) ○今後の連絡の便宜のためにEメールアドレスをお持ちの方はご記入ください。( ) ※個人情報利用について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・提供・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナー様のご案内を本学からお送りする場合がございます。口承諾する 口承諾しない (いずれかをチェック願います)					
おとこ (郵便番号)		おなまえ		日 附 印			
おなまえ		(電話番号)		日 附 印			
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)		(承認番号仙第8982号)		日 附 印			
これより下部には何も記入しないでください。							

各票の※印欄は、「依頼人」において記載してください。

「おとこ」は「おなまえ」欄に記入してください。

記帳事項を訂正した場合は、その欄所に訂正印を押してください。

切り取らないで大切に保管してください。

振替払込請求書兼受領証	
口座番号	0 2 2 6 0 - 7
加入者名	9 2 4 7 8
金額	千 百 十 万 千 百 十 円
おなまえ	2 0 0 0
依頼人	様
料 金	日 附 印
備 考	

## 今年も『モバイルキッズ・ケミラボ』を開催します

2002年より実施している米沢市教育委員会との連携事業「モバイルキッズ・ケミラボ」は、今年で11年目となります。過去の活動の中で、学社連携の強化、社会教育の質の充実とリーダー養成、何よりも児童生徒の科学へ興味関心の高揚となって大きな成果をあげてきました。

参加者にはリピーターの児童が圧倒的に多く、理科の楽しさを味わい、理科好きな児童が育っていることと思われます。新メニューの開拓などにより（スライムボール、クリップモーター新型など）興味を喚起する多様な講座内容を提供できるようになってきており、より一層魅力的な講座へと成長しています。

### 【モバイルキッズ・ケミラボ 2012】

日 時：平成24年5月～11月の土曜日 午前 計14回（詳細は裏ページ参照）

場 所：米沢市教育委員会理科研修センター

対 象：主として米沢市内小学4年生以上の児童と保護者、及び地域のリーダー

参 加 費：無料

そ の 他：大学院理工学研究科（主として物質化学工学分野、バイオ化学工学分野）の教員や技術職員が、実験指導を行います。

### 『モバイルキッズ・ケミラボ 2011』の活動内容

（L）は、リーダーコース受講者数

	テーマ	開催月日	参加児童数	保護者（L）	合計	
第1節	化粧品を作ろう	5 / 14	53	12（1）	66	
	電気パン	5 / 21	42	19（2）	63	
		5 / 28	45	13（2）	60	<b>189</b>
第2節	- 196 の世界	6 / 18	51	16（1）	68	
	玉ねぎの皮で染色	6 / 25	55	16（2）	73	
第3節	クリップモーター	7 / 2	42	15（2）	59	<b>200</b>
	オリジナルスタンプ	9 / 3	43	12（1）	56	
		9 / 10	35	11（1）	47	
		9 / 17	40	12（3）	55	<b>158</b>
第4節	サイエンス広場	・・・・・・ブース来場者		約100		
	生涯学習フェスタ	・・・・・・有料入場者		約200 + 200		
第5節	スライム（ボール他）	11 / 12	44	14（2）	60	
	3Dめがね	11 / 19	30	7（0）	37	
		11 / 26	33	8（4）	45	<b>142</b>
<b>総計</b>					<b>689</b>	

お問い合わせ

米沢市理科研修センター（TEL 0238-22-5111）

# 「モバイルキッズ2012」実施内容一覧

月/日	学習テーマ	学習内容	学習方法	講師名	時間
5/19 5/26	おいしい電気パンを作ろう	電気をつかったパン焼き器をつくり、おいしいパンを作る。	実験	山形大学大学院 理工学研究科 教授 尾形健明	2.5
6/02	スーパーボールを作ろう	硬いスライムのスーパーボールを作る	ものづくり	山形大学大学院 理工学研究科 助教 片桐洋史	2.5
6/23 6/30	酸素の力を調べよう	消えた色を戻したり、熱や電気を出して酸素の力を調べる	実験	山形大学理学部 物質生命化学科 教授 鶴浦 啓	2.5
7/07	梅干しはなぜ赤い？	梅干の赤い色は、植物の色素が酸性で赤くなることを知る。	実験	山形大学大学院 理工学研究科 准教授 波多野豊平	2.5
9/08 9/15	クリップモーターを作ろう	クリップ、磁石、乾電池を使って、モーターを作る。	ものづくり	山形大学大学院 理工学研究科 技術部 田村恒一	2.5
9/22	- 196 の世界	液体窒素を使って、何でも凍らせてみる	ものづくり	山形大学大学院 理工学研究科 助教 川井貴裕	2.5
10/06 10/07	きれいなしおりを作ろう	インクをつけたる紙に水をつけて色を広げてしおりを作る。	ものづくり	山形大学大学院 理工学研究科 助教 水口仁志	5.0
	オリジナルクレヨンを作って絵を描こう	ローソクからいろんな色のクレヨンを作る。	ものづくり	山形大学大学院 理工学研究科 准教授 落合文吾	5.0
11/17 12/01	金メッキにだまされるな	銅板を染めて、金メッキそっくりのにせものを作る。	ものづくり	山形大学大学院 理工学研究科 准教授 松嶋雄太	2.5
12/08	高級せっけんを作ろう	はだにやさしい高級せっけんを作る。	ものづくり	山形大学大学院 理工学研究科 准教授 木島龍朗	2.5

10/06、10/07は、生涯学習フェアでの開催とする。他のテーマとして、「化粧品を作ろう」を加えることとする。担当は、山形大学大学院理工学研究科准教授 野々村美宗、時間5.0